

春日市
地域活動
指導員だより

No.108

2017.3月号

いん
地域の未来へつなぐ活動情報紙

発行：春日市教育委員会
社会教育課

TEL 092-575-4121
FAX 092-593-7380

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください（イベント予告可）
地域活動指導員が取材に伺います。

第25回 弥生の里児童画大賞展

8月から作品を募集していた春日市弥生の里児童画大賞展。県内より集まった4,273点から11月に芸術家などの審査委員によって受賞作品が選ばれ、47点の入賞作品について、1月28日に授賞式が開催されました。会場のサンホールは厳かな空気に包まれ、受賞者の子どもたちはしっかりと足取りで壇上に上がり、市長や教育長などから賞状を受け取っていました。途中、かすがくんとあすかちゃんが登場し、場を盛り上げる一幕もありました。

同日からギャラリーで開催された受賞作品展示会には、多くの来場者がありました。大人は「癒された」「構図や色づかいが新鮮」と感動し、子どもたちには「すごかった」「私もかざられるようにがんばりたい」と刺激になったようでした。

弥生の里児童画大賞展は来年度も実施予定です。小学生の皆さんの素晴らしい作品をお待ちしています。



弥生の里大賞を受賞した永松丈靖さんの受賞の様子



△教育長から賞状を受け取る子どもたち



弥生の里大賞 春日小学校1年生 永松丈靖さんの作品



△来場者で賑わう展示会場の様子

学校・家庭・地域連携共育促進事業 「地域で子どもを育てる交流会」



春日原小学校の発表の様子



楽しく意見交換する参加者達

2月12日(日)ふれあい文化センター旧館で「地域で子どもを育てる交流会」を開催しました。この交流会は、学校・家庭・地域のさまざまな立場の人が集い交流することで、地域で子どもの育ちを支えるネットワークをさらに広げることを目的に毎年行っているもので、今年度は140名を超える方にご参加いただきました。

今回は、交流会の前段で、春日原小学校で行われている三者連携の取組について発表していただき、その後、中学校区ごとのグループに分かれての意見交流会を行いました。

お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中進められた交流会では、ざっくばらんに語り合うことができたようで、どのグループも話が尽きない様子でした。途中、グループ替えをし、他の中学校区の方と交流する時間もあり、参加者からは、「新たなつながりができた」「他の中学校区の情報を知ることができてよかった」などの感想が寄せられました。

最後に、子どものよさを伸ばすために明日から自分にできる「プラス1」について考えました。一人一人の「プラス1」が子どもを支える大きな力になることと思います。



春のふれあい体験王国

2月26日(日)にふれあい文化センター旧館で「春のふれあい体験王国」が開催されました。

この日は、約200名の子どもたちが参加し、会場はたくさんの親子連れで賑わっていました。

このイベントには、多くの地域ボランティアの方が参加しており、けん玉やお手玉、箸りんぴくや竹とんぼ作りなどを子どもたちに教えてくれます。あそびを体験できるだけでなく、地域の方とのふれあいもまた楽しみの一つとなっています。

この日は、会場の一角に、熊本地震の被災者へ届ける応援メッセージ入りの連だこを作るコーナーが設けられ、熱心にメッセージを書く子どもの姿もみられました。この連だこ当日、募金箱に寄せられた義援金は、3月に「春日市あそび名人の会」の方が、支援活動に行かれる際に熊本の子どものために贈られます。

たくさんの方の思いにふれることができた素敵な一日になりました。



応援メッセージを書く子ども



竹笛を作っている親子





子どもの料理コンクール

子どもの料理コンクール実行委員会主催



真剣に調理する子どもたち



優勝した馬場さんのお弁当

11月27日(日)春日中学校の調理室で春日中学校区の小学4~6年生を対象にした『子どもの料理コンクール』が開催されました。今回のテーマは、「旬の材料でお弁当を作ろう!」ということで、この日のために練習を重ねてきた9名(7組)の参加者が腕前を披露しました。

審査員らが見守る中、緊張した面持ちで調理する子どもたち。出来上がったお弁当は大人顔負けの出来栄でした。今回は、初めての試みということで春日中学校区の子どもたちを対象に実施しましたが、いずれは春日市全域で子どもたちの食育につながるコンクールにしていきたいそうです。

アンビシャス広場活動紹介

春日小学校アンビシャス広場

1月7日(土)小倉公民館で「星のお話会&もの作り教室」が行われました。

この日、子どもたちにお話ともの作りの指導をくださったのは、春日小学校の丸山校長先生です。

星座にまつわるお話の後、使い捨てのどんぶり容器と紙コップで「ポンポンカップ」を作り出来上がったおもちゃで先生や地域の方と楽しく遊びました。

より高くピンポン玉を飛ばすためにゴムの張り方を工夫したり、かわいい模様をつけるなどそれぞれオリジナルの「ポンポンカップ」が出来上がりました。



丸山校長先生の星のお話



ポンポンカップ作成中

情報コーナー



コカ・コーラ
レッドスパークス

うすい あきひろ
臼井 章広 監督

くわする ゆうさく
桑水流 裕策 選手がやってくる!!

家庭教育学級公開講座

夢をもつということ

~夢を叶えたスポーツ選手~

5月14日(日)午後2時~午後3時半

場所 ふれあい文化センター スプリングホール

2019年、ラグビーのワールドカップが福岡で開催。トップリーグチームの監督と選手に、子どもたちが夢をもつこと、そして、大人がその環境をつくることの大切さについて話していただきます。進行役は九州大学の佐藤剛史先生。どんな話が飛び出すかお楽しみに!!

■問合せ先 春日市社会教育課 TEL 575-4121

入場無料
申込不要



第1回春日おやしFESTA

春日おやしネットワーク

第1回春日おやしフェスタ実行委員会主催

「魅せよう！春日のおやし力!!」をスローガンに掲げ、市内小中学校のおよしの会活動の活性化を図るため企画された「春日おやしFESTA」が、1月22日（日）に春日西中学校で開催されました。この日は、天候が悪く寒い一日でしたが、約300名の参加があり大盛況でした。会場では5つの分科会に分かれ、防災キャンプや自転車教室等の事例発表や、ペットボトルを利用してピザを作るペットボトルピザの体験、また、外では威勢のいい掛け声とともに餅つきの実演が行われており、多様な特技を持つおやじたちのパワーを感じるイベントとなりました。

市内外のみならず、県外からの参加もあったようで、おやしネットワークの輪が広がっているようです。



餅つきの実演



防災キャンプでのクロスロード体験



ペットボトルピザの体験

きらい春日の人

★ 春日西中学校おやしの会会長
てらし のぶひと

★ 赫 伸仁 さん



春日西中学校おやしの会会長を務める赫（てらし）さんは、おやしの会の活動をとおして、学校や地域で様々な活動を行っています。一見強面な風貌ですが、実は、二人の男の子を持つ気さくで優しいお父さん。

「おやしの会」と出会ったのは9年前。初めは仕事が忙しいことを理由になかなか一歩踏み出せずにいたそうですが、勇気を振り絞り参加してみることに。先輩方の教えを受けながら活動を重ねていくうちに、人とつながることの楽しさ、感謝される喜び、何より子どもたちとのふれあいが楽しい！と感じるようになったそうです。忙しいからできないという言い訳で、気持ちがあれば何でもできるということに気づき、今では、仕事と両立しながら更に活動の幅を広げています。

1月22日に行われた「第1回春日おやしFESTA」は、おやじたちのつながりをもっと広げたいという思いで、仲間と共に立ち上げ、開催に至りました。「大変なこともありましたが、やってよかった。仲間がいたからできたんです。」と満足気に話をしてくれました。趣味は「もちつき」。年に7~8回は行っているそうで、呼ばれればどこでも行きますとのこと。「とにかく楽しいことが大好き！子どもが大好き！」という赫さん。

ゆくゆくは、登下校時の見守りの旗持ちのおじいちゃんになることが夢だそうです。

これから赫さんとおやじたちの活躍が楽しみです。

アンビシャス広場や子ども会など、社会教育に関する情報は、春日市ホームページ内『子育て・教育』『社会教育』からご覧いただけます。